第18回日本加速器学会総会

式次第

- 1. 承認が必要な議題
- 2. 広報・ウェブ幹事報告
- 3. 編集幹事報告
- 4. 庶務幹事報告
- 5. 行事幹事報告
- 6. 会計幹事報告



承認が必要な議題(1/2)



監事の承認

定款第14条 会長、評議員および監事は細則に定めるところにより、 正会員のなかから正会員により選出される。会長ならびに評議員は 監事を兼ねることができない。 定款第27条(抜粋) 監事の任期は一期2年とし、連続して三期務めることはできない。

細則第9条 監事の選出は次の方法による。

- 1. 監事の定数は2名とする。
- 2. 監事は正会員のなかから評議員会により推薦され、総会において承認される。

2020年4月1日~2022年3月31日を任期とする監事2名について、評議員会から下記2名の推薦がなされましたので、承認を求めます。

大熊春夫、早川建

なお、両名とも2018年4月1日~2020年3月31日を任期とする監事を務めており、 承認されましたら、2期目の監事就任となります。

承認が必要な議題(2/2)



会費の改定について

定款第8条 会員は、細則に定める会費を前納しなければならない。 会費の変更については、総会の承認を得なければならない。

評議員会(2020年4月14日)にて、会費改定に関する議論がなされ、 下記の改定を行いたいとの方針決定がなされました。ここに承認を求めます。

会員種別 現行(年額) 改定後(年額)

正会員 6,000円 8,000円

名誉会員 免除

学生会員 2,000円 3,000円

 賛助会員
 一口 10,000円
 一口 12,000円

購読会員 10,000円 12,000円

会費改定の発議にいたる背景について、評議員会資料、前回総会資料の抜粋を添付します。

評議員会資料(2020年4月14日)より抜粋

会費改定の発議にいたる背景

昨年8月の評議員会、総会で報告したように、当学会の財政は楽観できない状況にある。これまでの蓄え(繰越金)を取り崩しながら収支をバランスしている。業務委託の支出を抑制するため、幹事、委員に大きな負担をお願いしているが、本業の研究活動に支障を与えることは学会活動の本旨ではない。学会が設立されて17年目であるが、今後も長きにわたって学会活動を継続し、さらに発展するためには財政基盤の強化が望まれる。

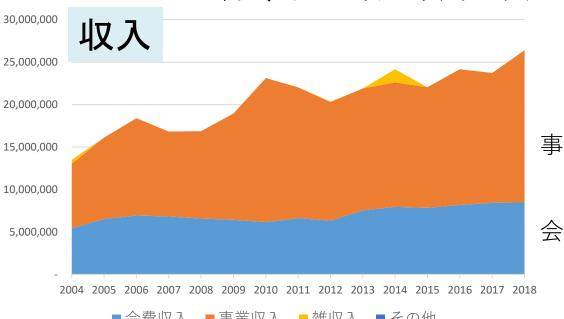
収支が赤字傾向となっている理由

- ・<u>事務委託先</u>が「ワーズ」→「三美印刷」→「国際文献社」と変遷してきた。これにより持続可能な体制が 強化されたが、委託費用は増えている。現在の契約は「定額制」ではなく「単価制」である。 手厚いサポートには対価が必要である。
- ・年会開催では、国立大学の法人化以降、会場費用が高額となり、年会で余剰金を生み出すことが難しくなった。
- ・消費税率の上昇(2004年=5% → 2020年=10%)。
- ・<u>税務申告</u>に伴う費用の発生(会計処理手数料、税理士手数料、納税)。社会的な責任を果たすためにやむをえない。

今後の懸念材料

- ・<u>年会の現地開催の中止</u>:松山年会の現地開催が中止となった。会場借用の料金についてキャンセル 料が発生する場合がある(幸い、松山年会については、6月19日なって全額返金の措置が決定した)。
- ・<u>選挙システム、年会システム</u>:現在、学会で独自に開発したシステムを運用している。今後、維持と 運用をボランティアでお願いできる後継者が見つからない場合、有償システムへの移行が必要となる。
- ・会員数の推移: これまでは右肩上がりの会員数も、団塊世代の引退とともに漸減のフェーズに移行するであろう。 年会費の安いシニア会員制度の導入など退会引き留めの策もありうるが、会費収入が頭打ちとなる時期がくると 思われる。

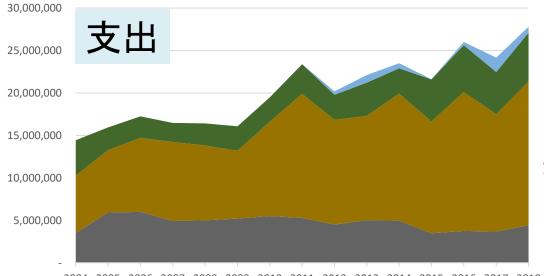
会員増で財政規模は拡大



事業収入(年会参加費、企業展示、 広告など)

会費収入





事務業務費

運営費(年会開催費、委員会旅費 など)

学会誌出版費

2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018

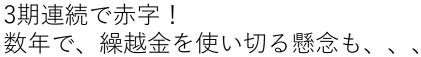
■学会誌出版費 ■運営費

■事務業務費

前回総会資料の再掲

財政見通しは、楽観できない





年会での大きな黒字は期待できず (国立大学の法人化も影響)

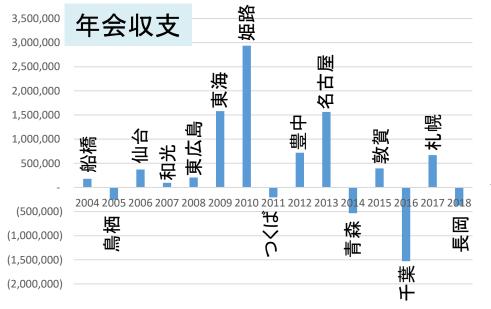
今年の年会は値上げ

年会参加費 = 5,000円 → 6,000円 (正会員、事前登録)

企業展示=129,600円 → 150,000円 (賛助会員)

正会員の会費 = 6,000円

(発足以来、変わらず)



前回総会資料の再掲

表決をお願いします

日本加速器学会 第18回総会 (2020年8 月28日)

今回の総会はオンラインでの開催となります。定足数の確認、承認が必要な議決を集計する ため、入力をお願いします。

認証コード (6桁の文字数字) は、学会に登録いただいている電子メールアドレス宛に送付しています。あらかじめ、認証コードをご確認の上、下記のフォームへ入力ください。

*必須

監事の承認 *

- 承認する
- 承認しない
- 棄権

会費の改定*

- 承認する
- 承認しない
- 棄権

認証コード*

回答を入力

https://forms.gle/EgyDRAYdc6437HR58

8月24日、15時に配信したメール、 表題「加速器学会総会の認証コード」 を参照ください。 会員に固有の認証コード(4桁)を 配布しています。

複数回の送信を行った場合は、 最初の送信のみが有効です。

認証コードが違っていても送信は可能ですが、表決は無効となります。

広報ウェブ幹事報告(1/2)



広報ウェブ委員

広報幹事: <u>宮本篤</u>(東芝エネルギーシステムズ(株)) 田中俊成(日大)、菊澤信宏(原子力機構J-PARC)、佐藤政則(KEK)、 古川和朗(KEK)、柳田謙一(SPring-8)、紀井俊輝(京大)、永井良治(量研機構)

活動内容

〇通常活動

公募・国内外会議のウェブページについて随時更新を行っている。会議等の中止や延期が相次いでいる。会員の皆様からも情報をお寄せいただきたい。

〇年会ホームページの運用

第17回年会がオンライン開催となった。プログラム集、講演資料等は事務局サーバで運用。学会サーバは、各種申込案内とアブストラクトの掲載のみ。

〇年会プロシーディングス編集作業

第17回年会プロシーディングス編集作業について、発表者に協力依頼する

- ・発表申込時に19名から協力の申し出あり
- ・編集作業説明会は開催せず、説明資料をメールで送付する
- ・編集作業を円滑に進めるための専用ウェブページで運用

広報ウェブ幹事報告(2/2)



〇加速器施設/大学

・近年の組織改編などにともない、リンク切れが多数発生。会員の皆様からも情報をお寄せいただきたい

Oオーラルヒストリー

- ・シニア世代の研究者、技術者の様々な経験をまとめて記録に残す
- ・第1,2回の聞き取りを完了し、第1回分 を公開、第2回は準備中
- ・アンケートを実施し感想を求めるとと もに、編纂作業への協力者を募りたい

〇今後の計画

・マイページと学会誌・年会ページの 認証統合



編集幹事報告(1/3)



編集委員

編集委員長 柏木茂(東北大)

編集委員

伊藤正俊(東北大), 大竹雄次(JASRI), 帯名崇(KEK), 加瀬昌之(理研), 川瀬啓悟(QST), 金正倫計(JAEA), 栗木雅夫(広島大), 設楽哲夫(KEK), 島田美帆(KEK), 末次祐介(KEK), 内藤富士雄(KEK), 中山光一(東芝エネルギーシステムズ), 保坂将人(名古屋大), 増田開(QST), 宮本篤(東芝エネルギーシステムズ),

編集幹事報告(2/3)



今後の発行予定

第17巻第3号(2020.10.30) 原稿締切8.30 第17巻第4号(2021.1.30) 原稿締切11.20 特集号 第18巻第1号(2021.4.30) 原稿締切1.31* 第18巻第2号(2021.7.30) 原稿締切4.30 *18-1 号より締め切りを1か月早める

学会誌での特集企画

*第12巻より1月末に発行される第4号を特集号として学会誌を編成している

第12巻4号「広がる加速器の利用」

第13巻4号「広がる加速器の利用 中性子」

第14巻4号「国際リニアコライダー(ILC)計画と新しい科学プロジェクトのあり方」

第15巻4号「本格始動! SuperKEKB 加速器」

第16巻4号「加速器と超電導技術」

17巻4号での特集テーマ「大強度不安定核ビーム」



編集幹事報告(3/3)



■ 学会誌記事のダウンロード数 (2019.08.01 – 2020.07.31)

● 2018年8月から、会員は最新号から全ての記事が閲覧可能。出版から1年を過ぎた 記事と1年未満の編集委員会推薦記事については非会員でも閲覧を可能にした。

	DL数	巻	号	分類	タイトル	主著者
1	1743	8	4	解説	真空中の放電現象	小林信一
2 (2)	1337	2	2	加速器と社会	港湾・空港セキュリティとX線検査	萬代新一
3 (5)	765	15	2	話題	低エネルギー電子散乱による陽子電荷半径測定	須田利美ほか
4 (10)	579	6	1		ノーベル賞受賞記念対談記事「益川敏英先生・川合光先生」	
5	566	16	4	特集話題	超伝導入門	荻津透, 古屋貴章
6	476	13	4	特集	医学利用(ホウ素中性子捕捉療法)	熊田博明ほか
7	449	2	3	講座	超精密加工と高性能加速管への応用(その2)	小泉晋
8	443	14	3	解説	自由電子からの渦電磁波の放射・	加藤政博
9 (1)	418	5	3	解説	加速器質量分析とその放射性炭素年代測定への応用	中村俊夫
10 (3)	399	14	2	話題	超伝導電磁石技術大型加速器応用	荻津透

()は前年の順位

■ 広告掲載について

● 学会誌「加速器」では、広告掲載を随時募集しています。

(年間契約や賛助会員の方には割引もあります)

庶務幹事報告(1/3)



学会で協賛・後	

	2019年開催の会議等		
会 期 等	行 事 名 称	許可日	種類
2月20日(水)	平成30年度理研シンポジウム 「安心・安全を未来に繋ぐ小型中性子源RANS・RANSⅡ」	2018年11月28日	協賛
3月12日(火)-13日(水)	2018年度量子ビームサイエンスフェスタ	2018年11月13日	協賛
6月5日(水)	HIMAC25周年記念講演会	2019年2月18日	後接
7月3日(水)-5日(金)	第56回アイソトープ・放射線研究発表会	2018年10月2日	後接
8月20日(火)-28日(水)	第13回大学生のための素粒子・原子核スクール サマーチャレンジ	2019年2月19日	後掛
10月28日(月)	2019年日本表面真空学会 学術講演会	2019年5月23日	協動
8月27日(火)-30日(金)	第59回真空夏季大学	2019年6月28日	協動
会期等	行 事 名 称	許可日	種類
3月10日(火)	兵庫県立大学ニュースバルシンポジウム ※中止	2019年10月23日	協動
3月12日(木)-14日(土)	2019年度量子ビームサイエンスフェスタ ※中止	2019年10月15日	協動
6月1日(月)-5日(金)	Nuclear Photonics 2020(NP2020) ※2021年6月11日に延期	2019年11月8日	協動
6月11日(木)-12日(金)	第13回核融合エネルギー連合講演会 ※中止	2019年12月12日	協動
7月7日(火)-9日(木)	第57回アイソトープ・放射線研究発表会 ※中止	2019年10月11日	後掛
8月18日(火)-26日(水)	大学生・高専生のための素粒子・原子核スクール・サマーチャレンジ ※中止	2020年2月4日	後抱
10月19日(月)-30日(金)	2020年度オンライン真空講習会 入門講座	2020年8月4日	協動
11月2日(月)-30日(月)	2020年度オンライン真空講習会	2020年8月4日	協動
11月9日(月)—11日(水)	日本中性子科学会 第20回年次大会(オンライン)	2020年7月2日 (online許可7/21)	協
11月15日(日)-19日(木)	The 9 th International Symposium on Surface Science ※2021年11月28日(日)~12月2日(木)に延期	2019年11月21日	協動
11月19日(木)-21日(土)	2020年表面真空学会学術講演会(オンライン開催)	2020年7月18日	協動

Particle Accelerator Society of Japan

庶務幹事報告(2/3)



会員数推移

調査日	正 会 員(名誉会員含む)	賛助会員	購読会員	購読会員(書店)
2014年3月1日	766名(うち学生46名)	51社	11社	1社
2014年7月20日	823名(うち学生52名)	54社	11社	1社
2015年3月1日	812名(うち学生47名)	54社	10社	1社
2015年7月20日	862名(うち学生53名)	56社	10社	1社
2016年3月1日	836名(うち学生48名)	56社	9社	1社
2016年7月20日	862名(うち学生53名)	57社	9社	1社
2017年3月1日	837名(うち学生40名)	56社	8社	1社
2017年7月20日	879名(うち学生37名)	58社	8社	1社
2018年3月1日	866名(うち学生36名)	60社	9社	1社
2018年7月20日	896名(うち学生45名)	60社	9社	1社
2019年3月1日	904名(うち学生42名)	60社	8社	1社
2019年7月20日	930名(うち学生54名)	62社	8社	1社
2020年3月1日	920名(うち学生54名)	63社	9社	1社
2020年7月20日	943名(うち学生66名)	64社	9社	1社

庶務幹事報告(3/3)



1. 加速器中性子連携タスクフォース

「中性子施設ネットワーク」をマスタープラン2020に提出し、重点大型研究計画には採択されなかったものの、学術大型研究計画(区分I)として選定された。今後は地域中性子源の仕様案の詳細設計への協力などを予定している。(岩下、内藤)

2. 加速器学会における軍事研究規制等に関するタスクフォース

主な大学、研究機関、企業における対応を調査、それをもとに2019/4/13の評議員会で議論した。その様子は学会誌(Vol. 16, No. 2)に掲載した。2019/11/17にアンケートを実施、会員からの意見を収集した。アンケートの結果に基づき、第17回年会での特別セッションの内容を決定した。

当初予定していた対面でのディスカッションに代えて、会員の意見を紹介する時間をとる。意見募集中。 (浦川、栗木、黒田、仙波、松岡、幹事会)

3. 外部団体への推薦

日本学術振興会 育志賞(令和2年度募集分) → 終了 東レ科学振興会 東レ科学技術賞、東レ科学技術研究助成 (令和2年度募集分)→ 選考中

行事幹事報告(1/6)



行事委員

行事幹事:仲井浩孝 (KEK)

広報幹事: 宮本篤(広報幹事/東芝エネルギーシステムズ)

年会ウェブページ担当 :佐藤政則 (広報委員兼務、KEK) 年会ウェブページ担当 :紀井俊輝 (広報委員兼務、京大) アブストラクト・論文集担当:菊澤信宏 (広報委員兼務、JAEA)

会場·企業展示担当 :清水洋孝 (KEK)

プログラム担当:黒田隆之助 (産総研)

プログラム担当 :坂上和之 (東大)

組織委員長 :中村剛 (KEK)

プログラム委員長 : 大竹雄次(JASRI) 実行委員長 : 増田剛正(JASRI)

前行事幹事 : 西森信行(QST)

前回組織委員長 : 大垣英明(京大)

前回プログラム委員長 : 神門正城 (QST)

前回実行委員長 : 岩下芳久(京大)

次回組織委員長: 斎藤勇一(QST)

次回プログラム委員長:神谷富裕(群馬大)

次回実行委員長 : 倉島俊(QST)

行事幹事報告(2/6)



4月12日の第30回評議員会で、松山市での現地開催を中止し、オンライン開催とすることに決定した。

松山の現地開催の準備が進行していたが、これらをキャンセルするとともに、オンライン開催に必要な情報を収集し、開催方法を決定した。

発表申込は297件(合同セッション含む)であった。(参考:前年は384件)

合同セッション4件 (3件のテーマはプログラム委員会で決定、1件を発表申し込みから 選定)

- 同時トップアップ入射のためのKEK電子陽電子入射器の加速モード切替の高度化
- RIビームファクトリーのビーム強度増強
- ラジオアイソトープの製造と応用 ~新元素の探索からがん治療まで~

● J-PARC MRの制御システム運用12年

口頭発表: カテゴリーへの割当は発表申込数に比例を原則

ポスター: コアタイムを設定

国際文献社への業務委託を増やしつつある

行事幹事報告(3/6)



第17回日本加速器学会年会 開催状況報告

事前登録 参加申込:304名(一般会員:240名、一般非会員:15名

学生会員:33名、学生非会員:16名) ※8/20時点

懇親会参加者: ―名※懇親会なし

研究発表 口頭発表 : 60件

ポスター発表 : 201件

萌芽的加速器技術の提案:4件

施設現状報告ポスター: 29件

年会賞応募 : 42 件 (口頭:19件、ポスター:23件)※プログラム委員会時点

講演 学会賞受賞講演: 3件(奨励賞1、技術貢献賞1、特別功労賞1)

企画セッション:「パワー半導体」「加速器施設の廃止措置」

特別セッション:「加速器と安全保障研究」

展示・広告 企業展示 :基本プラン19社、セミナープラン3社

その他

行事幹事報告(4/6)



第18回日本加速器学会年会 開催概要

開催地: 群馬県高崎市

共催: 量子科学技術研究開発機構、群馬大学(予定)

• 会期: 2021年 8月 9日(月)~11日(水)

見学: 量研機構高崎

会場: 群馬県コンベンション施設Gメッセ群馬

実施体制:

組織委員長 : 斎藤 勇一(量研高崎)

プログラム委員長:神谷 富裕(群馬大学)

実行委員長 : 倉島 俊(量研高崎)

現地開催の準備を進めているが、新型コロナウイルスの状況によっては、 オンライン開催の場合もあり得る。

行事幹事報告(5/6)



第19回 日本加速器学会年会 開催概要

共催:九州大学

• 後援:

• 会期: 2022年 8月 8日(月)~10日(水)

見学: 未定

• 会場: 北九州国際会議場/西日本総合展示場

実施体制:

組織委員長 : 池田 伸夫(九州大学)

プログラム委員長: 17回か18回のプログラム委員会から推薦予

定

実行委員長 : 若狭 智嗣(九州大学)

行事幹事報告(6/6)



加速器学会年会の運営について

プロシーディングス提出期限の厳守にご協力を

- プロシーディングス編集作業を、期限後速やかに開始できる体制を検討したい。
- 提出期限は年会前日(9月1日(火)24:00)であるので、期限までに必ず提出いただきたい。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます

会計幹事報告(1/8)



2019年度日本加速器学会決算報告

(2019年4月1日~2020年3月31日)

収入の部

3人(0) 印				
科 目	細目	前期実績	当期予算案	当期実績
会費収入		8,488,000	8,544,000	8,758,000
正会員	当年度分(140件+前年度前受金683件)×6,000円、過年度分31件×6,000円	5,016,000	5,172,000	5,124,000
学生会員	当年度分(21件+前年度前受金27件)×2,000円、過年度分10件×2,000円	84,000	84,000	116,000
賛助会員	当年度分(70口+前年度前受金255口)×10,000円、過年度分15口×10,000円	3,300,000	3,200,000	3,400,000
購読会員	当年度分9口×10,000円、過年度分2口×10,000円	80,000	80,000	110,000
書店経由購読会員	当年度分1口×8,000円	8,000	8,000	8,000
事業収入		17,925,817	15,187,500	17,891,486
会誌販売収入	学会誌売上	21,600	10,000	2,200
会誌別刷収入	「加速器」Vol.16,No,1~No.4	280,797	100,000	728,615
会誌広告収入	「加速器」Vol.16,No,1~No.4	1,917,000	1,750,000	1,129,240
学術的会合収入	第16回年会	15,706,420	13,327,500	16,031,431
雜収入		22,636	0	81
受取利息		66	0	81
還付金		22,570	0	0
その他		0	0	0
収入合計		26,436,453	23,731,500	26,649,567

会計幹事報告(2/8)



士	ш	$\boldsymbol{\sigma}$	部	
	ш	\mathbf{v}_{J}	נום	

文山の部	<i>'-</i> -	->/- 445 - /- 		
科 目	細目	前期実績	当期予算案	当期実績
学会誌出版費		4,409,962	4,898,000	5,119,430
会誌発行費	印刷・原稿管理・校正・発送・編集	4,329,448	4,848,000	4,943,872
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	80,514	50,000	175,558
運営費		16,944,794	16,407,100	16,986,973
学術的会合支出	第16回年会開催費	16,081,465	15,347,100	16,264,597
学会賞費	賞状用紙等	0	10,000	20,196
会場費	会議室使用料	126,351	150,000	61,560
旅費	各委員会旅費	736,978	900,000	640,620
事務業務費		5,748,188	4,493,326	4,385,899
基本業務委託費		621,000		0
	国際文献社基本料金	3,429,745	3,500,000	3,592,019
	法人税•消費税申告	756,000	187,000	183,600
	移転準備費用(初年度のみ)	378,000	0	0
基本以外 · 超過分	(以下の項目は超過分に含むものとして評価)	563,443	700,000	510,153
通信費	サーバー使用料等	82,492		62,251
	封筒印刷費	135,540		122,500
備品費		0		0
事務用品費		0		0
消耗品費		5,760		0
運送費	宅急便等	142,228		114,106
事務局旅費	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費	25,500		0
支払手数料	ドメイン使用料	24,948		8,994
振込手数料	銀行振込、年会会期以外のカード決済、受取人払時の手数料	146,975		180,702
他団体発行賞への学会推薦対応		0		21,600
選挙費	会長·評議員選挙	0	106,326	100,127
その他		705,300	450,000	173,688
年会特別講演撮影		162,000	200,000	0
オーラルヒストリー編纂		0	100,000	36,288
租税公課	法人税、消費税	543,300	150,000	137,400
その他		0	0	0
支出合計		27,808,244	26,248,426	26,665,990

会計幹事報告(3/8)



収支差額:剰余金

科 目	細目	前期実績	当期予算案	当期実績
収支差額		-1,371,791	-2,516,926	-16,423
前期繰越剰余金		7,441,055	6,069,264	6,069,264
次期繰越剰余金		6,069,264	3,552,338	6,052,841

2019年度貸借対照表

2020年3月31日現在

			<u> </u>
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金および預金		前受金	
三菱UFJ銀行残高	3,914,002	正会員会費(2020年度699件×6000円、2021年度1件×6000円)	4,200,000
郵便振替貯金残高	3,493,363	学生会員会費(33件×2000円)	66,000
みずほ銀行(年会用口座)残高	3,388,991	賛助会員会費(280口×10000円)	2,800,000
		書店購読会員会費(1口×8000円)	8,000
手持ち現金残高	0		
		未払金	988,485
未収金	990,990	預り金	
前払金	2,333,980	会費返金分	6,000
		前期繰越剰余金	6,069,264
		当期収支差額	-16,423
合計	14,121,326	合計	14,121,326

会計幹事報告(4/8)



2019年度資産負債明細

2020年3月31日現在

		20	<u> 20年3月31日現任</u>
	資 産	の部	
科 目	金額	細目	金額
現金および預金		三菱UFJ銀行残高	3,914,002
		郵便振替貯金残高	3,493,363
		みずほ銀行(年会用口座)残高	3,388,991
		手持ち現金残高	0
		未収金	990,990
		前払金	2,333,980
合計	14,121,326	合計	14,121,326

負債の部						
科 目	金額	細目	金額			
会費前受金(3月31日現在入金分)	7,074,000	正会員会費(2020年度699件×6000円、2021年度1件×6000円)	4,200,000			
		学生会員会費(33件×2000円)	66,000			
		賛助会員会費(280口×10000円)	2,800,000			
		書店購読会員会費(1口×8000円)	8,000			
未払金(3月31日現在)	988,485	国際文献社 1-3月分委託費	988,485			
預り金(3月31日現在)	6,000	会費返金分	6,000			
合計	8,068,485	合計	8,068,485			

	剰	余	金	の	部			
科 目	金	額				細	目	金額
前期繰越剰余金								6,069,264
当期収支差額								-16,423
合計								6,052,841

会計幹事報告(5/8)



剰余金処分計算書

前期繰越剰余金 当期収支差額

次期繰越剰余金

6.069.264 -16.423

6.052.841

2019年度決算監査結果

監查報告書

日本加速器学会の2019年4月1日~2020年3月31日の決算書について、監 査の結果、正確かつ適正であることを認めます.

2020年 5月16日

日本加速器学会

上熊 春夫

監查報告書

日本加速器学会の2019年4月1日~2020年3月31日の決算書について、監 査の結果,正確かつ適正であることを認めます.

2020年5月16日

日本加速器学会

監事 ヨーリ 建 草

会計幹事報告(6/8)



2020年度日本加速器学会予算案

(2020年4月1日~2021年3月31日)

収入の部(単位:円)

-IVA CAN HIS				\ + 2 . 3/
科目	細目	2020年度予算(A)	2019年度実績(B)	増減高(A-B)
会費収入		8,616,000	8,758,000	-142,000
正会員	870名×6,000円	5,220,000	5,124,000	96,000
学生会員	54名×2,000円	108,000	116,000	-8,000
賛助会員	320口(64社)×10,000円	3,200,000	3,400,000	-200,000
購読会員	8口×10,000円	80,000	110,000	-30,000
書店経由購読会員	1口×8,000円	8,000	8,000	0
事業収入		15,530,000	17,891,486	-2,361,486
会誌販売収入	学会誌売上	3,000	2,200	800
会誌別刷収入	「加速器」Vol.17,No,1~No.4	200,000	728,615	-528,615
会誌広告収入	「加速器」Vol.17,No,1~No.4	1,000,000	1,129,240	-129,240
学術的会合収入	第17回年会	14,327,000	16,031,431	-1,704,431
雜収入		0	81	-81
受取利息		0	81	-81
その他		0	0	0
その他		0	0	0
その他		0	0	0
収入合計		24,146,000	26,649,567	-2,503,567

会計幹事報告(7/9)



支出の部						
科目	細目	2020年度予算(A)	2019年度実績(B)	増減高(A-B)		
学会誌出版費		4,900,000	5,119,430	-219,430		
会誌発行費	印刷・原稿管理・校正・発送	4,800,000	4,943,872	-143,872		
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	100,000	175,558	-75,558		
運営費		14,998,000	16,986,973	-1,988,973		
学術的会合支出	第17回年会開催費	14,097,600	16,264,597	-2,166,997		
学会賞費	賞状用紙等	20,400	20,196	204		
会場費	会議室使用料	80,000	61,560	18,440		
旅費	各委員会旅費	800,000	640,620	159,380		
事務業務費		4,417,300	4,385,899	31,401		
基本業務委託費	国際文献社基本料金	3,630,000	3,592,019	37,981		
	法人税・消費税申告(税理士、国際文献社)	187,300	183,600	3,700		
基本以外	(予算案では以下の内訳を一括して評価)	600,000	510,153	89,847		
			以下、内訳			
通信費	サーバー使用料等		62,251			
	封筒印刷費		122,500			
備品費			0			
事務用品費			0			
消耗品費	コピー用紙、役員名刺代など		0			
運送費	宅急便等		114,106			
事務局旅費	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費		0			
支払手数料	ドメイン使用料		8,994			
振込手数料	銀行振込、年会会期以外のカード決済、受取人払時の手数料		180,702			
他団体発行賞への学	会推薦対応		21,600			
選挙費	会長•評議員選挙	0	100,127	-100,127		
その他		340,000	173,688	166,312		
年会特別講演撮影	撮影、編集、公開	100,000	0	100,000		
オーラルヒストリー編纂	聞き取り書き起こし、出張費	100,000	36,288	63,712		
租税	法人税、消費税(2019年度分)	140,000	137,400	2,600		
その他		0	0	0		
支出合計		24,655,300	26,665,990	-2,010,690		

会計幹事報告(8/8)



収支差額 • 剰余金

科 目	細目	2020年度予算(A)	2019年度実績(B)	増減高(A−B)
収支差額		-509,300	-16,423	-492,877
前期繰越剰余金		6,052,841	6,069,264	-16,423
次期繰越剰余金		5,543,541	6,052,841	-509,300

学会の健全な運営・発展には、会員、賛助会員、広告、 企業展示などをさらに増やしていくことが必要です。 引き続き皆様のご協力をお願い申しあげます。

(補足)納税について

加速器学会は任意団体であるが、納税の申告、その結果 納税(還付)の手続きが必要

①源泉徴収税(法人・団体が給与の支払いや謝金の支払いをする場合に、所得税の一部を預かって、前もって国に納付)

アルバイト、謝礼、講師の旅費(支払者が直接ホテルや旅行会社等に払い場合は除く) 等 (100万円以下は10.21%)

- ②消費税: 原則として2事業年度前の課税売上高が1000万円を超える場合、申告の義務が発生
- 課税の対象:国内において事業者が事業として対価を得て行う資産の譲渡等と輸入 取引:非会員の年会参加費
- 不課税取引:課税の対象に当たらない取引 (国外取引、対価を得て行うことに当たらない寄附や単なる贈与、出資に対する配当など:会員の年会費、会員の年会参加費
- 非課税取引:消費に負担を求める税としてなじまないもの、社会政策的配慮:土地、有価証券、商品券などの譲渡、預貯金の利子や社会保険医療など
- ③法人税:収益があった場合に申告(通常の会社と同じ) 企業展示のブース収入、学会誌の広告収入、など